



11月は「心かがやけ月間」です。

11月は、熊本市全体の小中学校で「心かがやけ月間」の取組を行っています。「心かがやけ月間」は学校・園・家庭・地域が連携して子どもたちの豊かな心を育むために、平成19年度にスタートしたものです。

本校では、縦割り班ごとの正門での挨拶運動（11月1日～15日）をはじめ、各学年で以下のことを行います。

- 低学年…老人会の方々との「昔遊び」「ふれあい給食」
- 中学年…「福祉体験」
- 高学年…「平和講和」



【 朝のあいさつ運動 】

また、11月28日（木）を親子道徳の日とし、各学級で道徳の授業を公開いたします。3・4・6年生の保護者の方には、道徳ノート「生きる力」の最後のページに「保護者記入欄」がありますので、ご感想などご記入頂いたら幸いです。時間がない場合は、サインでも構いません。どうぞご協力をお願いします。

先日の全校集会では、子どもたちに北原白秋さんの「ひとつのことば」という詩を紹介しました。言葉は心をもっています。とげのある言葉は受け取った人の心を傷つけるのはもちろん、使い人の心も傷つけていきます。反対に美しい言葉は使う人の心も言葉を受け取った人の心もきれいに潤してくれます。

子どもたちには、「言葉は簡単に人の心を傷つけてしまう。傷ついた心をもとにもどすことは難しい」ことを話し、「日ごろ使っている言葉をしっかり見つめ直してみよう」ということを話しました。

ぜひご家庭でも、お子様の言葉遣いについて見つめていただければと思います。

ひとつのことばを美しく	ひとつのことばを大切に	やさしいことばはきれいな心	きれいなことばはきれいな心	ひとつのころをもっている	ひとつのことばはそれぞれに	ひとつのことばで泣かされる	ひとつのことばで楽しく笑い	ひとつのことばで心が痛む	ひとつのことばで頭が下がり	ひとつのことばでなかなかおり	ひとつのことばでけんかして	ひとつのことば
-------------	-------------	---------------	---------------	--------------	---------------	---------------	---------------	--------------	---------------	----------------	---------------	---------

【 「ひとつのことば」 北原白秋 】

先日11月7日（木）が「立冬」でした。暦のうえでは「冬の始まり」とされています。（秋を感じる期間がとて短くなっていると感じます…）先週末までは「半そで」で過ごす子どもたちも多くいましたが、今週は「寒い寒い」と言いながら背中を丸めて登校してくる子どもたちの姿が見られました。

今週は体調を崩す児童も多くなってきています。最近の季節の変わりようには、なかなか体も心もついていけないなあと感じる今日この頃です。